



人生の節目を遅く

校長 作田潤一

今、中学3年生は、人生初の試練とも言える受験の山場を迎えています。

緊張した面持ちで受検結果の合否伝達を受けています。合格の喜びが満面の笑みから読み取れる生徒もいれば、予期せぬ結果にショックを受けて涙が止まらない生徒もいます。自分の合格の喜びよりも友人の悲しみを一緒に悩む生徒の姿もあります。学級担任や学年主任等は生徒に寄り添い、励ましや労りの言葉をかけている光景があります。

志望校の合格はゴールではありません。高校生活3年間をどう過ごして自分の夢に近づいていくのか、次の努力を始めるスタートラインに立ったことになります。

また、志望校の不合格が、努力の否定であったり、夢を諦めたりすることでもありません。目標をもって受験に臨んだ経験や辛い思いをした経験は、必ず長い人生の糧となります。違う形で努力を始めることを促してくれたのだと捉えれば良いのです。「結果が出ないとき、どういう自分でいられるか。決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる」と元野球選手のイチロー氏も言っています。

受験生がいる家庭では気苦労も多いことと思いますが、過敏にならずに普段通りの温かい笑顔で支えることが何よりのサポートとも言えます。地域でも、挑戦する中学生を温かく見守りください。

コロナ禍の中に、進路選択・決定という人生の節目に立ち向かう遅しい生徒たちを「頑張れ!」「負けるな!」と心から応援しています。

校内書き初め大会

日本の新年を祝う慣例行事に親しむことを目的に、1月14日(金)に校内書き初め大会を実施しました。1年生「文武両道」、2年生「意思堅固」、3年生「点滴穿石(てんてきせんせき)」を行書で書きました。今年度が初めての試みでしたが、生徒たちはとても一生懸命に取り組んでいました。1年生の生徒からは「自分なりによく書けたと思います。今年度はみんな同じ課題でしたが、来年の書き初め大会では自分の座右の銘を書き、自分の目につくところに飾りたいです。」などの感想が聞かれました。



今年もがんばるぞ!

美化活動(掃除の時間)

「御船中学校はとてもきれいで、ゴミひとつ落ちていないですね。すみずみまで掃除が行き届いていますね。」と御船中にお見えになった方がよく言われます。

御船中学校の美化活動の大きな特徴は生徒が主体的に掃除を行い、美化意識を高めているということです。また、1年生から3年生までが縦割り班を構成し、美化活動を行うところも他の中学校にはあまりないシステムです。

黙想の後、リーダーが掃除のポイントをメンバーに伝えます。掃除が始まると、校内は静寂に包まれます。生徒は無言で時間いっぱい掃除に取り組みます。掃除が終わると「終わりの集い」でメンバーが反省を述べます。このような毎日の積み重ねが、規律ある生活や環境・人・ものへの感謝の気持ちにつながっているようです。



リーダーが進めています

祝!ものづくり部 全国大会出場

1月22日(土)に第21回全国中学生創造ものづくり教育フェアが開催され、ものづくり部が出場しました。創造アイデアロボットコンテストと木工チャレンジコンテストに出場した3年生の谷頭衣織くんは「1、2年生では出場することができませんでしたが、3年生で全国大会に出場することができてよかったです。精一杯頑張ることができました。」と全国大会に出場した感想を述べてくれました。結果は以下の通りです。

第21回全国中学生創造ものづくり教育フェア

●創造アイデアロボットコンテスト計測・制御部門

競技の部:3位 審査の部:審査員特別賞

「ミジンコ」チーム 前田 絆くん 江藤奨真くん
倉本圭人くん

●創造アイデアロボットコンテスト応用・発展部門

審査の部:審査員特別賞

「一心不乱」チーム 小林玲蘭さん 三吉龍聖くん
谷頭衣織くん 高森未侑さん 工藤愛美さん

●木工チャレンジコンテスト

全国中学校産業教育教材振興協会会長賞

谷頭衣織くん

新聞タイム

御船中学校はNIE実践指定校としてさまざまな教育活動を行っています。その一つとして朝活動の時間に「新聞タイム」を実施しています。新聞タイムは読解力を身につけたり、地域のニュースに触れることでふるさとへの関心を高めたりすることを目的にしています。生徒たちは新聞記事を読み、記事に関する問題を解いていきます。生徒からは「地域のいろいろな情報を知ることができてとてもためになります。正しく読まないとい問題を解くことができないので、読む力を身につけていきたいです。新聞をもっと読んでみたいです。」などのコメントが聞かれました。



※NIEとはNewspaper in Education(教育に新聞を)を略したものです。